

問題 その7 船のおこうにあやしい木組み。
これなんだ？
次の二つの中からえらんでね！

1. とおる船を監視（かんし）する関所（せきしよ）

ここだけ川のはばがせまくなっている？

2. 水位（水の高さ）を調節する関（せき）

どうやって調節するのかな？

ヒント よく見ると、木組みの先では水面に
段差があるよ。



2. 水位（水の高さ）を調節する関（せき）

ピンポン、ピンポン、ピンポーン！！！！

せいかい！よくわかったね🌟🌟🌟

写真は見沼通船堀（みぬまつうせんぼり）の「閘門開閉実演（こうもんかいへいじつえん）」の様子だよ。見沼通船堀は、芝川（しばかわ）と見沼代用水（みぬまだいようすい）の間を船が行き来できるようにするために造られた運河（うんが）だね。芝川と見沼代用水の間は3メートルも高さが違っていたので、船がうかぶ水の高さを調節しないと、船を通すことができなかつたんだよ。それで、見沼通船堀には、水位（水の高さ）を調節する関（せき）が造られていたんだよ。くわしくは、「かいせつ」を見てね！

※緑区・国指定史跡 見沼通船堀（くにしていしせき みぬまつうせんぼり）の閘門開閉実演（こうもんかいへいじつえん）の様子。